保存版

令和４年２月

豊橋市

洪水ハザードマップ

Mapa de Risco de Inundação
Mapa ng Panganib dulot ng Baha
Flood Hazard Map

防災メモ

わが家の避難所

家族が離れ離れになった時の集合場所や連絡方法など

家族の連絡先

家族の名前	連絡先（学校や勤務先など）	電話番号	メ　モ（携帯電話など）

避難計画

裏面のマップを確認して、事前に避難計画を作りましょう。

洪水時に自宅が浸水する深さ	最寄りの避難所	避難にかかる時間
浸水深　　m		分
		分
		分

令和４年２月発行　豊橋市 建設部 河川課　所在地／〒440-8501 愛知県豊橋市今橋町１番地（豊橋市役所 東館６階）
電話番号／0532-51-2535 E-mail/ kasen@city.toyohashi.lg.jp

非常時に必要なもの

非常持出し品を準備しましょう！					
□	家族３日分の食料・飲料水	□	携帯電話・モバイルバッテリー及び充電器	□	衛生用品（歯磨き用具等）・生理用品
□	貯金通帳・印鑑・現金（小銭）	□	筆記用具（油性ペンを含む）	□	ティッシュ・ウエットティッシュ・除菌アルコール
□	ヘルメット・防災ずきん・運動靴	□	毛布・寝袋・簡易ブランケット		
□	健康保険証・運転免許証・権利証書	□	作業用手袋（革手袋）・防塵マスク	□	タオル・下着類
□	ラジオ兼ライト（予備電池）	□	ホイッスル（呼子笛）	□	ナイフ・缶切り・マッチ・ライター
□	本人・家族の写真（最新のもの）	□	救急薬品・常備薬・処方箋のコピー	□	予備メガネ・コンタクトレンズ洗浄液
□	マスク・体温計	□		□	
家族に合わせた準備をしましょう！					
▼ 高齢者がいる家族		▼ 乳幼児がいる家族		▼ 妊婦がいる家族	
□	食料品類（ゼリードリンクなど）	□	ミルク・哺乳瓶・離乳食等	□	脱脂綿
□	おむつ・紙パンツなど	□	おむつ・おしり拭き	□	ガーゼ・さらし
□	装具の予備（杖など）	□	ベビーソープ	□	新生児用品
□	持病等の薬	□	おんぶひも・おもちゃ	□	消毒用アルコール
□	口腔洗浄液・入れ歯洗浄剤	□	ガーゼ・さらし	□	母子健康手帳
□	身近な人の連絡先	□	食品アレルギーリスト	□	清潔なタオル等
□	自身の身元を記入したもの	□	母子健康手帳	□	マタニティマーク
□	防寒具	□	こども医療受給者証	□	

ローリングストック（循環備蓄）を忘れずに

ローリングストック（循環備蓄）とは、食料・飲料水などを保存期限が切れる前に消費し、新たに補充して、常に一定量のストックがある状態を保つことです。
定期的に古い備蓄から消費することで、無駄を出さず、いざという時に期限切れで使えなくなることを防ぎます。

施設電話番号

いざという時の連絡先	
消防（火災・救急・救助）	１１９
警察（緊急）	１１０
豊橋市災害対策本部（設置時）	51−2055

主な関係施設の連絡先	
豊橋市役所（夜間・休日）	51−2421
豊橋市民病院	33−6111
豊橋医療センター	62−0301

災害用伝言ダイヤル「１７１」の利用

地震等の災害発生時に、被災地の方の安否を気遣う通話が増加し、被災地への通話がつながりにくい状況になった場合に、NTTが提供するサービスです。

安否など連絡に便利な 災害用伝言ダイヤル 171 を知っておきましょう

「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って伝言の録音・再生をしてください。

伝言の録音方法
171
▼ ガイダンスが流れます
録音の場合 1
▼ ガイダンスが流れます

伝言の再生方法
171
▼ ガイダンスが流れます
再生の場合 2
▼ ガイダンスが流れます

被災地の方も被災地以外の方も、被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

（XXXX）XX−XXXX
▼ ガイダンスが流れます
録音（30秒以内）

（XXXX）XX−XXXX
▼ ガイダンスが流れます
再生

毎月1日、15日、防災週間（8月30日〜9月5日）、防災とボランティア週間（1月15日〜1月21日）、正月三が日（1月1日〜1月3日）に体験利用できます。

洪水ハザードマップとは

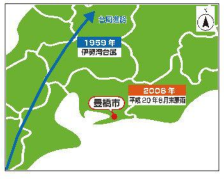
洪水ハザードマップとは？

洪水ハザードマップとは、大雨によって河川が増水・氾濫した場合の浸水範囲と浸水深さ及び各地区の避難場所を示したものです。

あなたが住んでいる地区の浸水やがけ崩れなど、大雨による災害の発生が予想される場所や状況を日頃からよく把握し、危険を感じたら、自主的に早めの避難を心がけましょう。

また、洪水により大きな災害の発生が予想される場合は、市からも避難情報などが出されますので、速やかに避難しましょう。

・豊橋市の主な過去の水害記録



・豊橋市の主な過去の水害被害状況

1959年　伊勢湾台風

伊勢湾台風は愛知県を中心に猛威を振るい、5,089人の尊い人命が失われました。豊橋市でも海岸堤防の決壊による洪水、暴風による家屋倒壊など甚大な被害をもたらしました。

■ 豊橋市の被害概要

死傷者	…	１３０人
家屋倒壊	…	２，１３５戸
床上浸水	…	１５７戸
床下浸水	…	２８８戸

伊勢湾台風による被害の様子

2008年　平成２０年８月末豪雨

平成20年8月末豪雨は、三河地方を中心に局地的な降雨をもたらしました。豊橋市では、28日の日中から29日にかけて、総雨量233.5ミリを観測しました。柳生川や内張川が氾濫し、193ヶ所の道路が冠水するなど大きな被害を受けました。

■ 豊橋市の被害概要

軽傷	…	１人
半壊	…	１戸
床上浸水	…	１２６戸
床下浸水	…	２１４戸

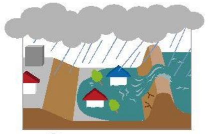
平成２０年８月末豪雨による浸水の様子

氾濫（はんらん）の種類

❶ 河川の水による氾濫（外水氾濫※）

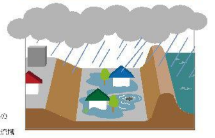
河川の堤防から水があふれる、または、破堤して、家屋や田畑が浸水することを外水氾濫と言います。

大量の流れの速い氾濫流が一気に流入し、短時間で居住地（住宅、市街地など）の浸水被害が起こるため、人的被害を伴う大きな災害になるおそれがあります。



❷ 河川へ排水できない水による氾濫（内水氾濫）

排水路や下水道管の処理能力を超える雨量が短時間に一挙に流入することや、川の水位が上昇して雨水をポンプで川に流せないことが原因で、市街地の建物や土地、道路などへ浸水することを内水氾濫と言います。



※　裏面のマップにて、「外水氾濫」による対象河川の浸水予想（浸水の範囲や浸水の深さ）を確認することができます。
浸水予想に関する具体的な条件は、裏面のマップ内にある「柳生川流域・梅田川流域（想定最大規模）について」を参照してください。

情報を入手しよう

避難情報・防災気象情報の入手、警戒レベルの確認

テレビ、ラジオ、インターネットなどから、防災気象情報や避難情報を積極的に入手しましょう。入手した情報をもとに、現在の「警戒レベル」を確認し、段階に応じた適切な行動を取りましょう。

警戒レベル※1	状況	住民が取るべき行動	防災気象情報（警戒レベル相当情報）	避難情報
警戒レベル５	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	氾濫発生情報（気象庁が発表） 大雨特別警報（気象庁が発表）	緊急安全確保※2（豊橋市が発令）
< 警戒レベル4までに必ず避難！ >				
警戒レベル４	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	氾濫危険情報（気象庁が発表）	避難指示※3（豊橋市が発令）
警戒レベル３	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	氾濫警戒情報（気象庁が発表） 洪水警報（気象庁が発表）	高齢者等避難※4（豊橋市が発令）
警戒レベル２	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	氾濫注意情報（気象庁が発表） 洪水注意報（気象庁が発表）	
警戒レベル１	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報（気象庁が発表）	

※1 必ずしも警戒レベル1〜5の順番で発令されるとは限らないので注意してください。
※2 市が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありませんので注意してください。
※3 避難指示はこれまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
※4 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難準備したり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

・緊急情報をメールで受け取る

パソコン、携帯電話どちらでも

「豊橋ほっとメール」

豊橋市が発信している緊急情報のサービスです

右のQRコードから空メールを送り登録すれば、無料で（携帯電話の場合パケット料金は発生）緊急メール（防災・避難情報）が配信されます。

QRコード※

※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

・避難情報、防災気象情報を自分で調べる

防災アプリ ハザードン
iphone/ipad QRコード※
Android QRコード※

「豊橋ほっとメール」の内容も確認できます。

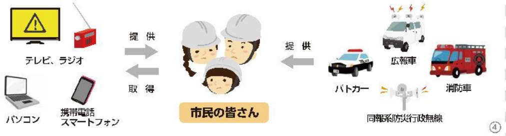
豊橋市（防災・災害情報）
http://www.city.toyohashi.lg.jp/6607.htm
QRコード※

気象庁
http://www.jma.go.jp/
QRコード※

※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

情報の伝達方法

気象、災害、避難に関する情報は様々な方法で提供されます。誤報に惑わされず、正しい情報に基づいて行動しましょう。



もしもの時に備えよう

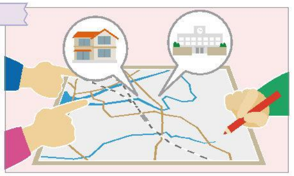
自宅と避難所を確認しておこう

ハザードマップで自宅と最寄りの避難所の場所を確認し、そこへ安全に行くための避難経路を家族で話し合って決めておきましょう。

また、避難先の候補に親せき宅や知人宅、ホテルなども検討してみましょう。

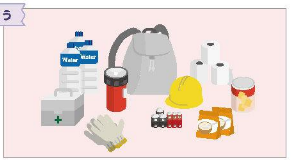
決定した避難経路はハザードマップに書き込んでおきましょう。

裏面のマップで確認



避難時の非常持出し品を用意しておこう

非常持出し品は、日頃から準備・点検をし、必要最小限のものをリュックサックにまとめ、できるだけ両手が自由に使えるように心掛けましょう。



避難時の心得

日頃から避難に必要なものを整理しておくとともに、避難の手順について、家族で話し合いをしておくと、いざという時あわてずに避難ができます。

正確な情報収集と早めの行動

避難の呼びかけに注意

避難する前にもう一度火元の確認

お年寄りなどの避難に協力

動きやすい格好で二人以上での避難

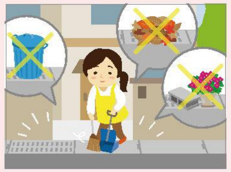
万が一逃げ遅れたら頑丈な高い建物へ避難

危険箇所を事前に確認しておこう

水路の近く

自宅付近が洪水時にどのくらい浸水するのか、事前に確認しておきましょう。

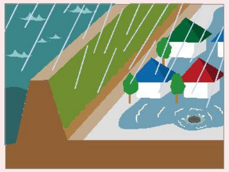
また、側溝や雨水ますは、普段から塞がないようにしておきましょう。



堤防や盛土の近く

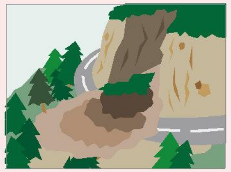
堤防の背後や大規模な道路盛土などに囲まれた地域は、排水能力が低く水が溜まりやすくなっています。

自宅や学校、勤務先など、事前に確認しておきましょう。



がけの近く

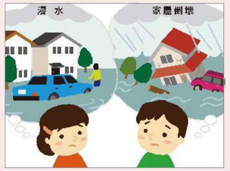
がけは大雨が降るとがけ崩れが起きる恐れがあります。大雨時には近づかないようにしましょう。また、自宅の近くにがけがある場合は、早めに避難を開始するよう心がけましょう。



浸水、家屋倒壊が予想される地域

浸水が予想される地域（洪水浸水想定区域）や、洪水時に家屋の倒壊が予想される地域（家屋倒壊等氾濫想定区域）に自宅付近が入っているかどうか、事前に確認しておきましょう。

裏面のマップで確認

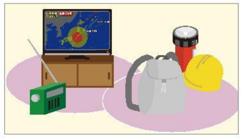


大雨が降ってきたらこんな点に注意しよう

正確な情報を集め、危険を感じたら早めに自主避難する

テレビ・ラジオ・インターネットで、最新の気象情報、災害情報、避難情報を常に注意して確認しましょう。

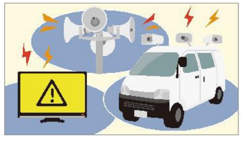
また、雨の降り方や浸水の状況など、まわりに危険を感じたら、早めに自主避難しましょう。



大雨が降り出したら呼びかけに注意する

危険が迫った時は、市や消防団などから避難の呼びかけをします。

呼びかけがあった場合には、速やかに避難を開始しましょう。



避難は複数で、助け合って避難する

避難所へ避難する時は、近所に声を掛け、できるだけ複数人で避難しましょう。

また、高齢者や障がい者、乳幼児など、避難の支援が必要な人たちを、皆で協力し助け合いながら避難しましょう。

状況によっては、近くの高い場所へ避難する

ひざのあたりまで浸水した時や、移動が困難な高齢者や障がい者、乳幼児などが避難所へ移動することは、かえって危険を伴う場合があります。

動くことを最小限に抑えて、自宅や近くのビルの高い場所へ避難し、救助を待つ方が安全な場合もあります。

市民の皆さんが取るべき行動

危険度　警戒レベル

低　2　自主避難と警戒

身体的に不安のある人、身の回りに危険を感じた人は自主的に避難しましょう

- ✓ テレビ、ラジオ、インターネットからの最新情報に注意しましょう。
- ✓ 大雨が降りだしたら、市や消防団からの呼びかけに注意しましょう。
- ✓ 身体的に不安のある人、身の回りに危険を感じた人は、自主的に避難しましょう。
- ✓ 非常持出し品の点検をしましょう。
- ✓ 避難所への避難ルートを確認しましょう。
- ✓ 避難前に火元を確認しましょう。
- ✓ 携帯電話の充電をしましょう。

Check! 早め早めの行動を！

3　高齢者等避難

**避難に時間が要する人とその支援者は危険な場所から避難を開始しましょう
その他の人は避難の準備をしましょう**

- ✓ 高齢者や障がい者、乳幼児とその支援者は、危険な場所から避難を開始しましょう。その他の人はいつでも避難できるように準備しましょう。
- ✓ 避難前にもう一度火元を確認しましょう。
- ✓ 親戚や知人へどこへ避難するか連絡しましょう。

Check! 明るいうちに行動を！

高　4　避難指示

速やかに危険な場所から避難してください

- ✓ 避難行動を完了させましょう。完了していない人は直ちに避難してください。
- ✓ 避難所への移動が危険な場合は、近くの高い場所へ避難しましょう。
- ✓ 避難は複数で、助け合って避難しましょう。
- ✓ 避難は動きやすい恰好で避難しましょう。
- ✓ 自動車や自転車による避難はやめましょう。
- ✓ 運動靴で避難しましょう。（サンダル、スリッパ、長靴は危険です。）
- ✓ できるだけ高い道路を選んで避難しましょう。
- ✓ 浸水した箇所を歩く場合は、長い棒を使って、溝や水路に十分注意して歩きましょう。
- ✓ 避難後も、テレビ、ラジオ、インターネットから最新情報を収集しましょう。

Check! あわてずに避難を！

Check! 命を守る行動を！